

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
 このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
 ご利用いただきたくご案内いたします。  
 当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を  
 重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ  
 どよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日      2018年10月1日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6962 1	赤痢アメーバ DNA 定性 <small>6B637-0000-015-851</small>	糞便 0.5g	FOO (U)	凍結	5~11		PCR	陰性	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">重</span> 採便後、速やかに凍結保存して ください。 他項目との重複依頼は避けて ください。本検査方法ではコン タミネーションの影響がより 大きくなりますので、検体採取 にあたっては取り扱いに充分 ご注意ください。

## ● 赤痢アメーバDNA 定性

PCR法により、検体中の赤痢アメーバDNAを特異的に検出する定性検査です。

赤痢アメーバ (*Entamoeba histolytica*) はヒトに病原性をもつ腸管寄生性原虫で、感染者の5～10%でアメーバ赤痢が発症します。

アメーバ赤痢は、イチゴゼリー様の粘血便、下痢、鼓腸、排便時の下腹部痛などの慢性的な消化器症状を伴う腸管アメーバ症と、赤痢アメーバが肝臓、肺、脳などに移行することで膿瘍を形成し重篤な症状を呈する腸管外アメーバ症に大別されます。腸管外アメーバ症はアメーバ赤痢の約1割を占め、そのうち、肝膿瘍が最も高頻度にみられます。

アメーバ赤痢は、感染症法で5類感染症（全数把握）に指定されており、症状や所見からアメーバ赤痢が疑われ、かつ、検査結果によってアメーバ赤痢患者と診断した場合には、7日以内に届出を行うことが定められています。検査方法としては、便や膿瘍液における顕微鏡下での病原体の検出、ELISA法による病原体の抗原の検出、PCR法による病原体遺伝子の検出、血清からの抗体の検出が示されています。

現在、広く用いられている検査方法は顕微鏡下での病原体の検出ですが、便の保存状態の影響を受けやすく、便中の白血球等との誤認も多く見られることが指摘されています。

本検査は、PCR法により、検体中の赤痢アメーバDNAを特異的に検出する定性検査です。病原体自体の存在を証明する検査法として、アメーバ赤痢の診断補助にご活用ください。

### ▼疾患との関連

アメーバ赤痢  
アメーバ性肝膿瘍

### ▼検査要項

検査項目名	赤痢アメーバDNA 定性
項目コードNo.	6962 1
検体量	糞便 0.5 g
容器	FOO (U) 糞便容器
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	5～11 日
検査方法	PCR
基準値	陰性
検査実施料	
判断料	
備考	<b>重</b> 採便後、速やかに凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。

### ●参考文献

Tachibana H, et al : J Infect Dis 164 (4) : 825～826, 1991. (検査方法参考文献)  
野崎 智義, 他 : アメーバ赤痢 2012年7月版 : 1～25, 2012. (臨床的意義参考文献)